

## 2009年全日本大会の競技種目等の変更に関する決定

2008年6月21日 社団法人日本武術太極拳連盟第63回理事会

2009年度に開催する「第17回JOCジュニアオリンピックカップ大会」、「2009年全日本武術太極拳競技大会」および「第26回全日本武術太極拳選手権大会」の3大会の競技種目または出場規定の変更について、選手強化委員会、審判委員会と技術担当理事が協議を行なった結果、下記の通りに変更する方針が確認された。下記の変更案が専門委員会と技術担当理事の総意として第63回理事会に提案され、同理事会で承認された。

### 記

#### 「第17回JOCジュニアオリンピックカップ大会」:

競技種目を20種目、男女計40種目とする。

##### <競技種目変更の理由>

- 1) 国際武術連盟(IWUF)は、今年12月にインドネシアで開催する「第2回世界ジュニア武術選手権大会」の套路競技の競技種目を、A組(16歳~18歳)、B組(13歳~15歳)、C組(7歳~12歳)の3年齢組とし、A組、B組、C組の競技種目を変更することを決定した。アジア武術連盟(WFA)も、2009年に開催される「第5回アジアジュニア武術選手権大会」以降の大会を、同様の競技種目で実施することを決定した。
- 2) JOCオリンピックカップ大会は、国際2大会(世界、アジア)と連動した大会でなければならないので、上記のA組、B組、C組と完全に一致する競技種目編成とする。  
そのために、「初級南拳」、「少年長拳」は廃止する。
- 3) A組、B組、C組は満年齢制を廃止し、国際大会の規定と合致するように、指定期間内の出生年齢でエントリーを受付ける。
- 4) 従来、実施されてきた「普及套路部門」のうち、「中学生長拳」は、全国のジュニア選手層の拡大と技術向上の結果、全国大会で実施する意義が低下したので廃止する。ただし、先に廃止した「ドラゴン長拳」、「パンダ長拳」と同様に、各ブロックや各県のジュニア大会で実施するのは十分に意義のあることであり、尊重して継続されるべきである。

##### <出場規定の変更>

従来、総合太極拳および24式太極拳に出場する選手は、ジュニア太極拳1または2にエントリーすることは禁止していた(これらの種目は1人1種目に限る)。今大会から、総合太極拳または24式太極拳に出場する選手も、年齢が適合すれば、ジュニア太極拳1または2にエントリーすることができることとする。総合太極拳、24式太極拳の選手がジュニア太極拳や「規定難度套路太極拳」などを習得することを促進する目的で、門戸を広げる。

#### 「2009年全日本武術太極拳競技大会」:

競技種目を自選難度競技6種目、男女計12種目とする。

##### <競技種目変更の理由>

- 1) この大会は、国際競技大会と連動して日本の国際競技力を向上させるために実施してきた。国際競技大会は自選難度競技が主体となった。国際規定套路は他の大会(「JOCジュニアカップ大会」と「全日本選手権大会」)で実施すれば事足りるので、この大会から廃止し、自選難度競技を主体とした競技大会に変更する。
- 2) JOCジュニアオリンピックカップ大会の出場選手が年々増加している(2008年第16回JOCカップ大会=男女計696人、2008年全日本競技大会=男女計184人)。また、自選難度競技は、新国際ルールで実施するために、出場選手が比較的少人数であっても、競技時間が長く、他の種目の競技編成を圧迫している。

- 3) JOCジュニアカップ大会が、上記のように従来の16種目男女計32種目から、20種目男女計40種目となる。また、従来は、1人1種目しか出場できない種目が多数あったが、国際大会の規定に基づいて、A組、B組、C組の殆どの種目が1人2種目または3種目出場することになる。このため2009年の「第17回JOCジュニアオリンピックカップ大会」は、延べ出場者数が大幅に増加することになり、「2009年全日本競技大会」で、従来の規定競技種目を実施する余地が無くなると思われる。
- 4) 少数の「自選難度競技」の選手だけの大会を「全日本競技大会」として継続してゆくことが適切かどうかについては、他の競技種目で流動的な要素があるものを考慮しながら、2010年以降の課題とする。

#### 「第26回全日本武術太極拳選手権大会」:

競技種目は変更せず、第25回大会と同様に、個人競技5部門(1)規定競技部門、2)自選競技部門、3)規定難度競技部門、4)自選難度競技部門、5)伝統競技部門)と団体競技1部門で、合計37種目(男女個人競技計68種目、団体競技計3種目)を実施する。

ただし、下記の2競技部門について、「10.出場規定に関する規定」を一部変更して、出場制限を加える。

##### 1) 規定競技部門:

1. 総合太極拳A、2. 総合太極拳C、3. 24式太極拳A、4. 24式太極拳B、5. 24式太極拳C は、1人1種目に限って出場することができる。

1.~5.のいずれかの種目に出場する選手は、8.長拳A、9.剣術A、10.刀術A、11.槍術A、12.棍術A、13.南拳、14.南刀、15.南棍のどの種目にも出場することができない。(太字下線部を追加する)

##### <出場制限の理由>

第25回大会から、競技種目を統合して再編成した。その目的の一つは、大会の日程が限られているなかで、少数の選手の不合理な重複出場を減らし、できるだけ多くの選手に出場機会を提供することであった。そのために、原則として、個人競技の競技部門を越えて複数種目の出場はできないこと、個人競技の競技部門のなかで、ジュニア太極拳1、2を例外として、それ以外の太極拳種目と拳術系種目に重複して出場することはできないこととしている。

上記の趣旨から、1)規定競技部門のなかで、ジュニア太極拳1、2を例外として、1.~5.のいずれかに出場する選手は、8.~15.のどの種目にも出場できないことは自明のことと判断される。しかしながら、第25回大会において「明文化されていない」との理由で、1人の選手から、2.総合太極拳Cと、8.長拳A、10.刀術A、12.棍術Aの計4種目にエントリーがあった。今後、このような不合理な重複エントリーを排除するために、明文化する。

##### 2) 伝統競技部門:

31. 伝統拳術A、32. 伝統拳術B、33. 伝統拳術C、34. 伝統器械は、1人2種目出場することができる。ただし、31.~33.のなかでは、1人は1種目に限って出場することができる。(太字下線部を追加する)

##### <出場制限の理由>

31. 32. 33. 34. の4種目で、1人2種目出場することができる趣旨は、31.~33.の拳術から1種目に出場し、さらに34.の伝統器械にも追加出場することにある。伝統武術と伝統器械の両種目を発展させるために設けたものである。31.~33.の拳術のなかから2種目出場するのは不合理な重複出場であり、これを排除するためにこの制限を明文化する。

# 2009年 第17回 JOC ジュニアオリンピックカップ大会 開催要綱

6. 競技種目と競技運営： 次の20種目、男女計40種目の個人競技を実施する。

	競技種目名	種目内容	出生期間・年齢・学籍	時間規定
ジュニア規定競技部門A (世界ジュニア選手権・アジアジュニア選手権A組種目) = 16歳以上 18歳以下				
1	総合太極拳	総合太極拳の全套路	16歳以上 18歳以下 (1991年1月1日から1993年12月31日の期間に出生した者)	5分以上 6分以内
2	42式太極剣	42式太極剣の全套路	出生期間は同上 (1. 総合太極拳に出場する選手に限ってエントリーできる)	3分以上 4分以内
3	南拳	国際規定套路	出生期間は同上	1分20秒以上 2分以内
4	南刀	国際規定套路	出生期間は同上 (2. 南拳に出場する選手に限ってエントリーできる。南刀、南棍の2種目、または、どちらか1種目でも可)	1分20秒以上 2分以内
5	南棍	国際規定套路		1分20秒以上 2分以内
6	長拳A	国際第二套路	出生期間は同上	1分20秒以上 2分以内
7	長拳A短器械	国際第二套路 (剣術Aまたは刀術Aのどちらか)	出生期間は同上 (5. 長拳Aに出場する選手に限ってエントリーできる。短器械、長器械2種目、または、どちらか1種目でも可)	1分20秒以上 2分以内
8	長拳A長器械	国際第二套路 (棍術Aまたは槍術Aのどちらか)		1分20秒以上 2分以内
ジュニア規定競技部門B (世界ジュニア選手権・アジアジュニア選手権B組種目) = 13歳以上 15歳以下				
9	24式太極拳	24式太極拳の全套路	13歳以上 15歳以下 (1994年1月1日から1996年12月31日の期間に出生した者)	4分以上 6分以内
10	32式太極剣	32式太極剣の全套路	出生期間は同上 (9. 24式太極拳に出場する選手に限ってエントリーできる)	2分以上 4分以内
11	南拳	国際規定套路	出生期間は同上	1分20秒以上 2分以内
12	南刀	国際規定套路	出生期間は同上 (10. 南拳に出場する選手に限ってエントリーできる)	1分20秒以上 2分以内
13	長拳B	国際第一套路	出生期間は同上年齢は同上	1分20秒以上 2分以内
14	長拳B短器械	国際第一套路 (剣術Bまたは刀術Bのどちらか)	出生期間は同上 (12. 長拳Bに出場する選手に限ってエントリーできる。短器械、長器械2種目または、どちらか1種目でも可)	1分20秒以上 2分以内
15	長拳B長器械	国際第一套路 (棍術Bまたは槍術Bのどちらか)		1分20秒以上 2分以内

ジュニア規定競技部門C (世界ジュニア選手権・アジアジュニア選手権C組種目) = 7歳以上12歳以下				
16	初級長拳	初級長拳の全套路	7歳以上12歳以下(1997年1月1日から2002年12月31日の期間に出生した者)	40秒以上1分30秒以内
17	初級短器械	初級剣術または初級刀術のどちらか	出生期間は同上(15.初級長拳に出場する選手に限りエントリーできる。短器械、または、長器械のどちらか1種目だけに限る。短器械と長器械の2種目出場は不可)	40秒以上1分30秒以内
18	初級長器械	初級棍術または初級槍術のどちらか		
普及套路部門				
19	ジュニア太極拳2	ジュニア太極拳2(16動作)の全套路	満18歳以下	3分以内
20	ジュニア太極拳1	ジュニア太極拳1(13動作)の全套路	中学生以下	3分以内

註1. 1.~20.の競技種目のどの種目を第1日(4月4日<土>)に実施し、また他のどの種目を第2日(4月5日<日>)に実施するかは、出場申込み締め切り後に、競技編成を行ったうえで、2009年2月9日(月)頃に出場団体宛に通知する。

註2. 1.総合太極拳 ~ 18.初級長器械の18種目の年齢規定は、従来の満年齢制を廃止し、国際大会に従って定めた期間に出生した者が出場できるものとする。

註3. 19.ジュニア太極拳2の出場規定は、従来通り、大会開催年4月1日現在の満年齢によるものとする。

註4. 20.ジュニア太極拳1の出場規定は満年齢によるものではなく、従来通り、大会開催年4月2日以降の学年によるものとする。

註5. 従来の「初級南拳」、「少年長拳」および「中学生長拳」を廃止する。

#### 7. エントリー種目の制限:

- 1) 1.総合太極拳に出場する選手に限り、2.42式太極剣に、2種目目としてエントリーできる。20.ジュニア太極拳2を除き、その他種目(3.~18.,20.)にはエントリーできない。
- 2) 3.南拳に出場する選手に限り、4.南刀 および 5.南棍に、2種目目、3種目目としてエントリーできる。20.ジュニア太極拳2を除き、その他種目(1.~2.,6.~18.,20.)にはエントリーできない。
- 3) 6.長拳Aに出場する選手に限り、7.長拳A短器械および 8.長拳A長器械に、2種目目、3種目目としてエントリーできる。20.ジュニア太極拳2を除き、その他種目(1.~5.,3.~18.,20.)にはエントリーできない。
- 4) 9.24式太極拳に出場する選手に限り、10.32式太極剣に、2種目目としてエントリーできる。19.ジュニア太極拳1または 20.ジュニア太極拳2を除き、その他種目(1.~8.,11.~18.)にはエントリーできない。
- 5) 11.南拳に出場する選手に限り、12.南刀に、2種目目としてエントリーできる。19.ジュニア太極拳1または 20.ジュニア太極拳2を除き、その他種目(1.~10.,13.~18.)にはエントリーできない。
- 6) 13.長拳Bに出場する選手に限り、14.長拳B短器械および 15.長拳B長器械に、2種目目、3種目目としてエントリーできる。19.ジュニア太極拳1または 20.ジュニア太極拳2を除き、その他種目(1.~12.,16.~18.)にはエントリーできない。
- 7) 16.初級長拳に出場する選手に限り、17.初級短器械**または** 18.初級長器械のいずれかに限り、2種目目としてエントリーできる。初級短器械と初級長器械の両方にエントリーすることはできない(国際規定により、低年齢選手に過度の負担をかけないための制限)。

- 19.ジュニア太極拳1または20.ジュニア太極拳2を除き、その他種目(1.~15.)はエントリーできない。
- 8)20.ジュニア太極拳1(13動作)は、「中学生以下」の選手に限って出場することができるものとする。  
 なお、19.ジュニア太極拳2(16動作)は年齢規定が「18歳以下」なので中学生以下の選手も出場できるものとする。
- 9)1.~18.に出場する選手で、年齢規定または学年規定に適合すれば、上記の1)~7)の規定にかかわらず19.ジュニア太極拳2または20.ジュニア太極拳1にエントリーすることができる。
- 注；従来は、総合太極拳、24式太極拳に出場する選手は、ジュニア太極拳1、2にはエントリーすることができなかった(太極拳種目の重複出場を禁止するため)が、今大会からエントリーすることができこととする。総合太極拳または24式太極拳の出場選手が、ジュニア太極拳1、2や「規定難度套路太極拳」を習得することを促進するために、門戸を広げる。

## 2009年全日本武術太極拳競技大会 開 催 要 綱

8. 競技種目： 下記の自選難度競技種目を実施する。

1. 太極拳	太極拳の自選難度套路	3分以上4分以内
2. 太極剣	太極剣の自選難度套路	
3. 南 拳	南拳の自選難度套路	1分20秒以上2分以内
4. 南拳短器械(南刀) または長器械(南棍)	南刀または南棍の自選難度套路	
5. 長 拳	長拳の自選難度套路	1分20秒以上2分以内
6. 長拳短器械(刀術または剣術) または長器械(棍術または槍術)	短器械 = 刀術または剣術の自選難度套路 長器械 = 棍術または槍術の自選難度套路	

9. 出場選手： 強化指定選手で、選手強化委員会の氏名を受けた選手のみがエントリーすることができる。